

06.

癒される家



家での時間は自然に包まれて。

都会での人工物に囲まれ、時間に追い立てられる生活は家まで持ち込みたくない。とはいっても今すぐ山にこもるような生活はできない。せめて家の中にあるものは自然な形・素材だけにして、リラックスしながら愛猫と一緒に本を読んでいた。

家で深く深呼吸できる暮らし。



DEVELOPMENT

No.004

素敵なうさぎライフ研究所

Millennial
Concept House

i-Be²

ambientum

ambientum アンビエンタム

Ambient+接続語 um (Aquarium、Planetariumなど文化施設の印象)



MISAKI

都会生活のストレスから解放され、
コクーン(繭)感覚で自分に帰る場としての家。
家全体で究極のリラックスを得ることを
目的に、五感発想でデザインされた空間。

仕事で忙しい毎日。リズムを保てず、体調を崩すこともしばしば。だからこそ、自分らしく過ごせる家での時間を大事にしています。入浴と睡眠は質にこだわり、部屋にもセンスと合わないものは置かないように。休日には癒しを感じられる場所へ出かけることも。毎日ビルに囲まれてると自然に触れたいかなるんですよね。とにかく、どんなときも「自分らしさ」は大切にしていきたいですね。

家ではすべてを
リセット。
スイッチを
切り替える。



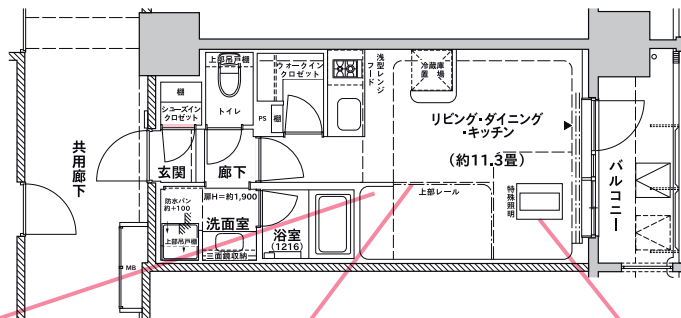
自然のリズムに
ココロとカラダを
合わせ、五感を
研ぎ澄ませる。



最小限の
好きなモノで
最大限の
心地よい暮らし。



PLAN



プランPOINT

光をたくさん部屋に
取り込めるように
リビングダイニングで
洋室の間仕切りを取り、
くつろぎスペースを窓側に配置。
水回りを集約する事で
居室空間にゆとりも。

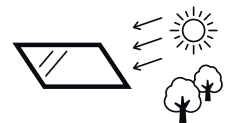
静かに優しく自分と
向き合うための
包みこまれるような
曲面の空間。



常に好きなものだけに
触れられるよう
いつでも簡単に
室内を仕切れる。



自然の光を
感じる照明と
自然素材に
囲まれる室内。



そんな日常リセットのための“ambientum”プラン



※イメージ



DEVELOPMENT

No.004

素敵なうさぎライフ研究所

Millennial
Concept House

i-Be²

うさ研とは？

いま、かつての「大きいことがいいこと」という時代から「コンパクトな暮らし」を楽しむ時代に変わりつつあります。かつて“うさぎ小屋”と呼ばれたわたしたちの住まい。素敵なうさぎライフ研究所＝うさ研は、「いま」のライフスタイルをもとに、新しい“うさぎ小屋”の暮らしを研究し、わたしたちにいろいろな色の、こんな暮らしがしたかったというアイデアを提案します。



i-Be²とは？

自分らしい個性を住まいにも求めるミレニアル世代。大衆向けの平均的なものではなく、いびつでアンバランスな個性を持つ人にぴったりな居場所を作れないか。そんな発想から、アンバランスな私たちのアンバランスな住まい「i-Be²」は生まれました。



i-Be²
イビツ

i-Be² 開発の経緯

- ・今や世界を変えつつあると言われるミレニアル世代(1980年代～2000年代序盤生まれ)の意識や生活行動は、住生活においても従来の常識を覆す新しい市場を生み出す可能性を秘めています。
- ・そこでこのプロジェクトでは、都内に居住するミレニアル世代の単身女性(ミレニアルズ)を対象にエスノグラフィ(製品開発に活かすためのユーザー観察の手法)を中心としたリサーチを実施。
- ・その結果、自分らしい個性的な生き方を愛するミレニアルズは、画一的な枠組みに収められることを好まず、自分にふさわしい個性を住まいに対しても求める願望があることを明らかにしました。
- ・「大衆」に向けて設計された平均値発想の間取りや仕様・設備ではミレニアルズの真の期待に応えることはできない。均整のとれた汎用性を目指すのではなく、コンパクトマンションの優位性を活かして、ちょっといびつでアンバランスな個性を持つ人にぴったりな「自分らしい居場所」を作れないだろうか。そんな発想から、“アンバランスな私たちのアンバランスな住まい”「i-Be²」は生まれました。
- ・「i-Be²」とは、私(i)がもっともっと自分らしく(Be2)生きられるという意味と、「いびつ(仏:Baroque)」の意味を重ね合わせたネーミングです。